

# 豊橋っ子 調べ学習コンクールに挑戦しよう!

ちょうせん

豊橋市図書館

## ステップ1 テーマを決めよう!

「調べたいこと」「知りたいこと」= テーマ です。

- ・身のまわりをよくみましょう。
- ・「どうしてそうなっているのかな?」と考えてみましょう。

たとえば・・・

近所の神社の夏祭りでは、手筒花火をあげるのかな?

地震があったときに、家族から昔、豊橋でも地震があったって聞いたけど、  
どんな風だったのかな?

テーマには歴史、文化、偉人などを選んでね!

(観察や実験は、対象外になっちゃう…)

郷土と一般の違いは、豊橋や東三河にあれば郷土、それ以外は  
一般になるって考えてみてね。

例えば…吉田城は郷土で、名古屋城や姫路城は一般。

豊川用水は郷土で、明治用水や愛知用水は一般。

吉田神社は郷土で、伊勢神宮や熱田神宮は一般。

イメージわくかなあ?



## ステップ2 そのテーマについて本で調べよう!

中央図書館には2階に、テーマ別調べ学習コーナーに豊橋の本、1階じどうしつに  
調べものに使える本がたくさんあります。

- ・調べたいことがのっている本を探す
- ・検索機を使ったり、図書館司書に聞いたりする
- ・複数の本(資料)をあたるようにする

本は、1冊以上を使ってね!  
インターネットも使ってみて!



## ステップ3 現地調査やインタビューもしてみよう!!

- ・テーマに関係する人にインタビューをしてみましょう
- ・体験したり、現地調査をしてみましょう!
- ・市内のほかの施設での相談会を活用してみましょう

(相談会のことは、チラシにも書いてありますので、みてください)

「とよはしアーカイブ」  
では、昔のとよはしの  
ことを調べることが  
できるよ!



## ステップ4 まとめて作品にしよう!

つぎのページから 作品の作り方を紹介します!

# 1. 作品をつくろう




作品（論文）は、読む人にしっかり伝わる形でまとめることが大切です。



具体的には、次のことを書きましょう。


## ① タイトル（表紙）


読む人に、「これは何について書いたものなのか」というテーマを伝えます。  
自分が調べたことを、ひとことでまとめましょう。  
つくった人（自分）の学校名、学年、組、出席番号、名前も忘れずに書きましょう。

 同じ内容でも、興味をひかれるタイトルのほうが、読む人を引きつけます。  
表紙にイラストや写真をつけてイメージしやすくすると良いでしょう。

## ② 調べた理由

「どうしてそのテーマを調べようと思ったか」という理由を書いておきましょう。  
調査の目的をはっきりさせることで、読みやすく、興味を引く作品になります。

 前向きな理由、具体的な理由を書きましょう。  
○ 家の近くにあって、小さいころから不思議に思っていた。  
× なんとなく「〇〇城」を思いついた。

 疑問点や問題点を「解決したい」という思いを書きましょう。  
例) 〇〇を調べてみると、△△がわかっていないという問題があった。  
△△はとても重要なので、私が今回の調べ学習のなかで明らかにしようと思う。

## ③ 調べた方法

調べた方法、進め方などを、できるだけ詳しく書きます。  
詳しく書くことで、読む人も同じように調査できるようになります。

 調べた **方法** べつに **まとめる** と、わかりやすいです。

例) 本での調べ物 …… 〇月〇日と〇月〇日に、〇〇学校図書室で調べました。  
〇〇については、〇月〇日に、〇〇図書館で調べました。  
聞き取り調査 …… 〇月〇日、〇〇城跡で、城に詳しい〇〇さん（〇〇歳、市内〇〇町在住）  
から、城主〇〇の話の話を聞きました。

## ④ わかったこと

調べて、わかったことを、ページを分けて **要約** します。

要 = かなめ。ものごとの大切な部分  
約 = 約する。まとめる

} 「大切なところを短くまとめる」こと。

👉 各ページの一番上に、「見出し」をつけましょう。

見出しとは、そのページの「内容」をひとこと言い表す言葉です。

同じ内容が数ページ続いている場合は、まとめてひとつの見出しでも良いです。

### 例その1 見出しをつくってみよう。

豊橋市の図書館の歴史は、とても古い  
です。

図書館ができるずっとまえ、1848年に、  
羽田野敬雄という国学者さんが神社に  
「文庫」という図書館のミニチュア版を  
つくりました。

1912年に豊橋市として図書館をつくる  
ときは、この文庫の本を買い取ることで、  
図書館の本をそろえました。

文庫の本を図書館が引きついでからも  
図書館は本を増やしたり新しい建物へ  
引っ越したりしています。

下の表にそれをまとめました。

〇〇年	.....で.....。
〇〇年	.....から.....する
〇〇年	.....で.....。

見出し (例)

豊橋市図書館の歴史

👉 文章を短く区切って書くと、読みやすくなります。書く順番も工夫してみましょう。

### 例その2 どっちが読みやすいか考えよう。

① 玉子焼きをつくるには、まず玉子を割ります。

そして、調味料を入れて、ぐるぐる混ぜましょう。

きちんと混ぜたら、フライパンに油を広げ、玉子を注ぎます。

固まってきた玉子を巻いて形を整えれば、玉子焼きの完成です。

② 卵焼きを作るには、玉子を割ってから調味料を入れ、ぐるぐる混ぜたあとフライパンに

油を広げて、よく混ぜた玉子をそこに注いで、玉子が固まってきたら巻いて形を整えたら

完成します。

👉 イラストや図、写真を使うと、もっと見やすく、楽しくなります。

👉 本の内容を自分の意見のように書くのはダメ!そのまま書きたいときは、引用しましょう!

引用の仕方は 5 ページへ 👉

## ⑤ まとめ

タイトルとして挙げたテーマに対して、**自分なりの答え** を書きます。

- ☞ 答えをまとめるときに、他の人の意見を引用した場合は、「ここは(じぶん)の考えたことではなく、ほかの人の意見ですよ」とわかるように、はっきり区別して書きます。

## ⑥ 感想

工夫したこと、わくわくしたこと、驚いたことなどの**感想**を書きます。

- ☞ ⑤の「まとめ」と⑥の「感想」はしっかり区別します。  
見出しやページを変えて、感想を最後に書くと良いでしょう。
- ☞ もっと調べたくなったことなど、前向きな感想をつけ加えると良いでしょう。  
例) つぎは、今回調べたことをもとに、さらに〇〇を調べていきたい … など

## ⑦ 参考文献(どんな資料、施設を使ったか)

使った資料のタイトルなど、「何を参考にしたか」を書きます。くわしくは6ページへ ☞

## ⑧ 目次の作成

目次とは、各ページの見出しと、その見出しの内容が何ページ目から始まるかを順番に並べたものです。目次があると「どこに何が書いてあるか」を、すぐに探せます。目次を作ったら、①「タイトル」(表紙)の次に来るようにしましょう。



さらに良い作品にするために、こんなページも作ってみましょう。

### ・予想

調べるまえに、自分が知りたい「？」をいくつか書き出し、その答えを予想しましょう。

これは、②「調べた理由」と ③「調べた方法」の間に挟みます。

### ・研究の歴史

自分が決めたテーマについて、「今までどんなふうに調べられていたか」を知ってから自分の調査をすると、内容が深く、良いものになります。

これは、上の「予想」の次に挟みましょう。

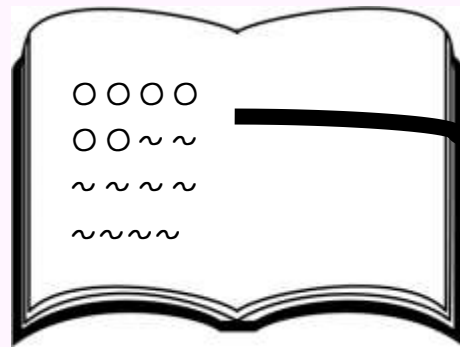
- ☞ 研究の歴史は、古い順に書くと良いです。
- ☞ 「どの本に」「どういう研究がのっているか」のリストを先につくると便利です。



いんよう

## 引用について（大切です!）

情報や資料に書いてある文のままを書き写す（引用する）ときは、自分で考えた文章と区別することが必要になります。そのために、写した文章を「」や“ ”で、くくりましょう。「参考文献リスト」にその番号を書き添えてください。



作品

図書館は「○○○○○○○  
○○」1)という。また、  
「△△△△△△△△  
△△△△」2)ともある  
ので、

### ◎作品の最後の参考文献リストの番号と対応させる方法

	著者	書名	出版社	出版年	ページ	図書館名・請求記号
1	豊橋百科事典編集委員会／編集	豊橋百科事典	豊橋市文化市民部文化課	2006	p○	A 224/277
2	豊橋市図書館100周年記念誌編集委員会／編集	豊橋市図書館 100年のあゆみ	豊橋市図書館	2014	p△	A 016/181

### ◎作品の文章の中に入れる方法

引用する部分は「」でわかるようにして、そのあとに

**（著者名、『書名』、出版社、出版年、ページ）**

**と書きます。**

図書館は「○○○○○○○」（豊橋百科事典編集委員会／編『豊橋百科事典』、豊橋市文化市民部文化課、2006年、p○）という。また、「△△△△△△△△△△△△△△」（豊橋市図書館100周年記念誌編集委員会／編集、『豊橋市図書館 100年のあゆみ』、豊橋市図書館、2014年、p△）ともあるので、

くわしくは、図書館を使った調べる学習コンクール HP 「参考・引用文献リストの書き方」をみてね。



## 参考文献リストをつくらう!

参考文献リストをつける理由は2つあります。

1. 自分の考えと 別の人の考えを区別することで、別の人の研究を尊重するため
2. レポートを読んだ人が、あとで見直したり、もっと調べたい時に役立てるため

☞本やサイトにも、間違いや、作者それぞれの個人的な意見があります。

調べるときは、複数の本を使って調べてください。

## 本の場合

必要な情報は、本の表紙や、本の後ろのほうにある「奥付」というページにのっています。

<b>手筒花火のひみつ</b> 発行 2014年6月1日 著者 花火屋 太郎 発行者 豊橋出版 豊橋市羽根井町 XXX 0532-31-XXXX	①著者名(本を書いた人の名前) ②書名(本の名前)、 ③出版年(本を作った年) ④発行者(本を作った会社の名前)
---	---

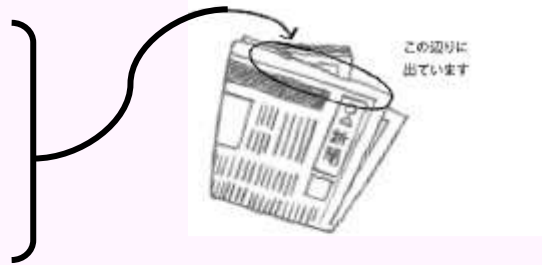
参考・引用文献リスト(一例)						
番号	著者名	書名	出版年月	発行者	ページ	図書館名と請求記号
1	花火屋 太郎	手筒花火のひみつ	2014年6月	豊橋出版	4~21	豊橋市中央図書館 368/テ
2	祭 太郎(編集)	祭のひみつ	2014年7月	豊川出版		自宅
3	ほの国ヨシダ (監修)	トヨッキーの謎	2012年6月	豊橋出版	36~41	豊橋市松山校区市民館 289/ホ
参考Webページリスト(一例)						
番号	制作者	Webページ名	Webサイト名	URL	更新年月日	アクセス年月日
1	豊橋手筒を愛する会	手筒の歴史	ザ・手筒	<a href="http://www.tezutu">http://www.tezutu</a>	2012.3.31	2013.4.1

☞インターネットで調べたときは、サイト名だけでなく、制作者・URL(アドレス)・調べた日付なども書きましょう。ページ名とサイト名の両方が分かれば、両方とも書きます。サイトにアクセスした日も書きましょう。

## 新聞の場合

新聞の場合

- ①記事を書いた人の名前
- ②新聞記事名
- ③新聞紙名
- ④記事の出した(掲載された)年月日
- ⑤朝刊か夕刊か
- ⑥ページ



例)

記事を書いた人の名前	新聞記事名	新聞紙名	掲載年月日	朝夕刊	ページ
	祇園祭りで手筒花火	東日新聞	2010年 7月〇日	朝刊	1


↑記事の最後に書いていない場合は書かない。


### 例その3 参考資料を記録しよう。

本を一冊用意して、著者(編集者)名、書名、出版年月、発行者(出版社)を書きましょう。

※引用ページがはっきりしているものは、ページ数を入れましょう

著者名 【            】  
 書名   【            】  
 出版年【            】  
 発行者【            】

 インターネットの場合は、  
 制作者、参考にしたページ名、サイト名、  
 ページのアドレス、ページを見た日付  
 を書きましょう。

 どこかの施設へ行ったり、誰かから聞き取り調査をした場合も、そのことをしっかり書いておきましょう。

- ・調べた場所については、正確な名前を書きましょう。
- ・聞き取りをした人、お世話になった人も書きましょう

## 2. 図書館で調べよう

中央図書館では、2F に調べ学習コンクール用「テーマ別調べ学習コーナー」があり、郷土の調べ学習でよく使われる本は、夏休みのあいだ、そのコーナーに置いてあります。1F じどうしつには、調べ学習に使える本が、たくさんあります。貸出できない本は、書き写したり、コピーして使ってください。詳しく調べるために、本をたくさん探したいときは、このページを参考にしてください。



### 豊橋市図書館の使い方

棚の本は、日本十進分類法ぶんるいによって分類して並べてあります。

目的の本がどこに分類されているか予想しましょう。

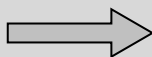
例その4 お城の本がどの棚に分類されているか予想しよう。

一. 日本の歴史


二. 建物


三. 世界遺産

四. 衣食住の文化



答え：建物

 豊橋のことを中心に書いてある本は、2階「郷土資料コーナー」にあります。日本十進分類法をもとにした、愛知県郷土資料分類がつかわれています。

 検索端末けんさくたんまつを使えば、本がどこにあるか分かります。

検索端末では、書庫しょこにある本や、貸出中の本が探せます。

# 図書館の本の並べ方のひみつ

図書館では、日本十進分類法によって本を仲間わけしています。

日本十進分類法はすべての本を大きく10の仲間に、わけています。

にほんじゅうしんぶんるいほう

## 日本十進分類法

- 0 総記
- 1 哲学・宗教
- 2 歴史・地理
- 3 社会科学
- 4 自然科学
- 5 工学
- 6 産業
- 7 芸術
- 8 語学
- 9 文学

この世界のすべてのこと、  
ものが、10の仲間に分けられて  
いるんだね。  
でも、世界はとっても広くて  
たった10の仲間分けでは  
分けきれないね……。



そこで!

一つの仲間をさらに  
10にわけます。

その中で、

さらにその仲間を  
10にわけます。

- 0 総記
- 1 哲学・宗教
- 2 歴史・地理
- 3 社会科学
- 4 自然科学
- 5 工学**
- 6 産業
- 7 芸術
- 8 語学
- 9 文学

- 50 技術
- 51 建設
- 52 建築(建物)**
- 53 機械工学
- 54 電気工学
- 55 海事工学
- 56 採鉱冶金学
- 57 化学工学
- 58 製造工学
- 59 家政

- 520 建築学
- 521 日本の建築**
- 522 東洋の建築
- 523 西洋の建築
- 524 材料
- 525 設計
- 526 各種の建築
- 527 住宅
- 528 設備
- 529 装飾

たとえば、お城の本は……

工学の本

建物の本

日本の建物の本

5 2 . 1

と な り ま す。

本のラベル

52.1

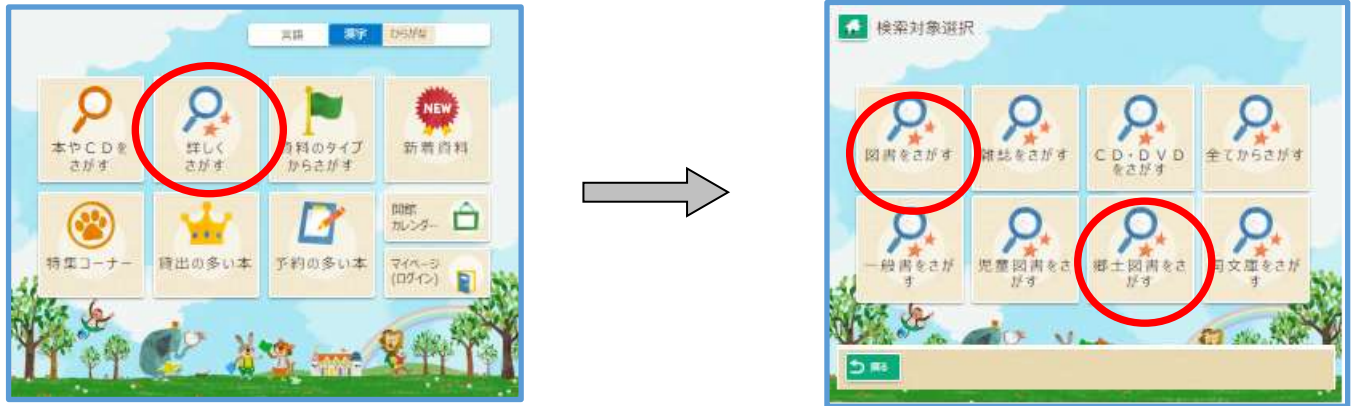
二



## 検索端末の使い方

豊橋市図書館には、みなさんが本を探すためのパソコン(=検索端末)が置いてあります。検索端末で本のある場所を調べ、棚まで探しにいきましょう。

- ① 画面をさわると、下のページに変わります。「詳しくさがす」のアイコンをタッチすると、となりの「検索対象選択」(ひらがな表示の場合:けんさくたいしょう)のページになります。「図書をさがす」を選んでください。郷土の本を探すときは「郷土図書をさがす」も便利です。



- ② 右の画面になったら、調べたいことを表す単語を、わくの中に入れます。

今回はキーワードに「てづつはなび」をいれて例にしました。タイトル(本の名前)や著者(書いた人の名前)でも調べられます。



- ③ 単語を入れたら「この条件でさがす」ボタンをタッチします。

- ④ 検索結果が表示されます。読みたい本を選んで、タッチします。



本の詳しい情報は、このように表示されます。

必要<sup>せきやく</sup>なところをメモするか、右側の「印刷」ボタンでレシートを印刷しましょう。

🔍 棚から本を探すときに大事なものは、「請求記号<sup>せいきゅうきごう</sup>」と「所蔵場所<sup>しょざうばしょ</sup>」です。

🔍 図書館の人が探すときには、「資料コード<sup>しりょう</sup>」もメモしてあると便利です。

資料詳細

手筒花火を揚げる町に住む

出版者:豊橋市広報広聴課 | 種別: 図書 | 予約数:0

利用可

所蔵館	所蔵場所	請求記号	資料コード	資料区分	状態
中央	郷土	/A575/217/	126125475	郷土図書	利用可
中央	郷土	2 F展 示/A575/21/	126125467	郷土図書	利用可
中央	閉郷土	/A575/211/	126125483	郷土図書	利用可
向山	貸室郷土	/A575/ /	223248451	郷土図書	利用可
向山	書庫郷土	/A575/ /	223249053	郷土図書	利用可
向山	書庫郷土	/A575/ /	223249046	郷土図書	利用可
向山	書庫郷土	/A575/ /	223249038	郷土図書	利用可

戻る | 最初 | 前へ | 2 / 4 | 次へ | 最後

印刷 | 予約 | 場所を見る

場所をしっかりと確認しましょう。

児童室を一生懸命さがしても、  
「郷土」コーナーの本は見つかりません。

🔍 「閉児童」「閉一般」「閉郷土」など、

場所に「閉」という文字が入っていれば、  
それは書庫の中の本です。

請求記号<sup>せいきゅうきごう</sup>は、本の住所です。

これをメモしておく、  
本を探しやすくなります。

## こんなときって、どうするの？

Q いつまでに、どうやって出せばいいの？

A 担任の先生に出してください。学校によってちがいががありますので、詳しいことは、先生に聞いてください。

Q 何ページくらいの作品をつくればいいのかな？

A 10 ページから 50 ページの作品を募集しています。

表紙、目次、参考文献のリストは数えません。自分の気持ちや、調べた内容の部分のページだけを数えてください。

Q 手書きでもいい？

A 手書きでも、パソコンを使ったものでも OK です。手書きなら、できるだけ丁寧に書きましょう。

なお、インターネットのページをコピーしたものは「自分の作品」と認められませんので、気をつけてください。

Q 文字の大きさは決まっているの？

A 文字数、文字の大きさなどは自由です。

文字の大きさやレイアウトで、読みやすい作品になるよう工夫をしてみましょう。

Q 作品の大きさは、どれくらい？

A 小学生(4~6年生)はB4サイズまで、中学生はA4サイズまでです。

紙の種類やとじ方は自由ですが、壁新聞のように大きなものは受付できません。

また、一作品としてばらばらにならないように、ホチキスや糸でしっかり留めましょう。

クリアファイルなど、すでに本のような形になっているものを利用するのも、方法です。

Q ぜったいに図書館を使わなくちゃダメ？

A 「図書館の本」を使う必要はありませんが、本は 1 冊以上使ってください。

まずは本で基本的なことを調べてから、調査に出かけましょう。

「基本的なこと」を書いてから、「より詳しく調べたこと」を書くのが、作品の基本です。

Q ほかのひとの作品を見ることはできる？

A 過去の入選作品は自由に見ることができるよう、夏休み中は、研究室 8 番の中で展示します。

「図書館を使った調べる学習コンクール」(全国コンクール)の入賞作品は、ホームページから見ることでできます。

Q 入賞すると、どうなるの？

A 賞品がもらえます。受賞した作品のうち最優秀賞・優秀賞の中から、全国コンクールへ推薦されます。

みなさんの力作を、お待ちしております。

